

# 浦臼町地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

浦臼町は北海道の中西部、空知管内のほぼ中央に位置し、農業を基幹産業とした人口1,700人を下回る町である。浦臼町を南北に走る国道275号を主要道路とし、石狩川の対岸にある奈井江町へ続く道道278号(浦臼奈井江線)及び道道139号(江別奈井江線)によって国道12号と結ばれている。

浦臼町の地域公共交通は、これまで様々な民間事業者の撤退がありながらも、町民の交通手段の維持・確保に努めてきた。令和4年10月には中央バス滝川浦臼線の廃止に伴い、浦臼町の地域公共交通体系の大きな見直しを実施した。

当町は町内に高校がないため学生は町外へ通学しなければならない状況にあり、町内の医療機関は診療所と歯科のみであるため町外にある総合病院への通院する者も多く、町外への地域公共交通システムの構築は必要不可欠である。

また、町民の高齢化も進み「ドア・トゥ・ドア」での輸送需要も高くなってきており、町内の移動手段として「乗合タクシー」及び「一般営業タクシー」を運行するなど、安心して浦臼町に住み続けてもらうための交通を構築している。

町内の人口は減少傾向にあるものの、地域公共交通の利用は年々増加していることから、今後も町内外の地域公共交通手段の維持は必要であると考えます。

町内の居住者はもちろんのこと来訪者も含め、地域公共交通を『安心して誰でも便利に利用でき住みやすい「浦臼町」へ』を目標とし、地域間幹線系統と接続するフィーダー系統(デマンド型・路線型)を組み合わせることで、生活交通ネットワークの構築を進める。

## 生活交通確保維持改善計画の目標

浦臼砂川線輸送人員 6,140人/年  
乗合タクシー輸送人員(鶴沼・晩生内線) 1,490人/年

## 令和5年度事業概要

浦臼砂川線 浦臼駅～奈井江駅～砂川駅(鶴沼経由) 運行日数364日 運行回数2,007回  
乗合タクシー 浦臼町全域を運行区域とする 晩生内方面: 8往復便(約41km<sup>2</sup>) 鶴沼方面: 7往復便(約33km<sup>2</sup>)

## 地域公共交通の現況

### 【(株)美唄自動車学校】

・浦臼砂川線(平日12便、休日9便)  
浦臼駅～奈井江駅～砂川駅(鶴沼経由) 20.6km

### 【(株)ビジコー】

・乗合タクシー事業 晩生内方面: 8往復便(約41km<sup>2</sup>)  
鶴沼方面: 7往復便(約33km<sup>2</sup>)

### 【町営バス】

・浦臼滝川線(平日4往復、休日3往復)  
浦臼駅～滝川駅 19.7km

### 【スクールバス一般利用有償運行】

・浦臼中心部と各方面を連絡  
・晩生内及び鶴沼方面(登校便1便、下校便2便)

### 【JR札沼線廃止に伴う代替バス】

・月形浦臼線(平日5往復、休日4往復)  
浦臼駅～月形駅

## 協議会開催状況

令和5年6月14日 第1回浦臼町地域公共交通会議  
運行状況報告、生活交通確保維持改善計画について  
令和5年7月19日 第2回浦臼町地域公共交通会議  
自家用有償旅客運送者登録の更新申請について  
令和5年12月20日 第3回浦臼町地域公共交通会議  
地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について、  
令和6年4月以降の浦臼砂川線19・20時台に係る運行に  
ついて、令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画の  
変更について、令和6年5月2日 停留所の変更について  
(浦臼駅→えみる)

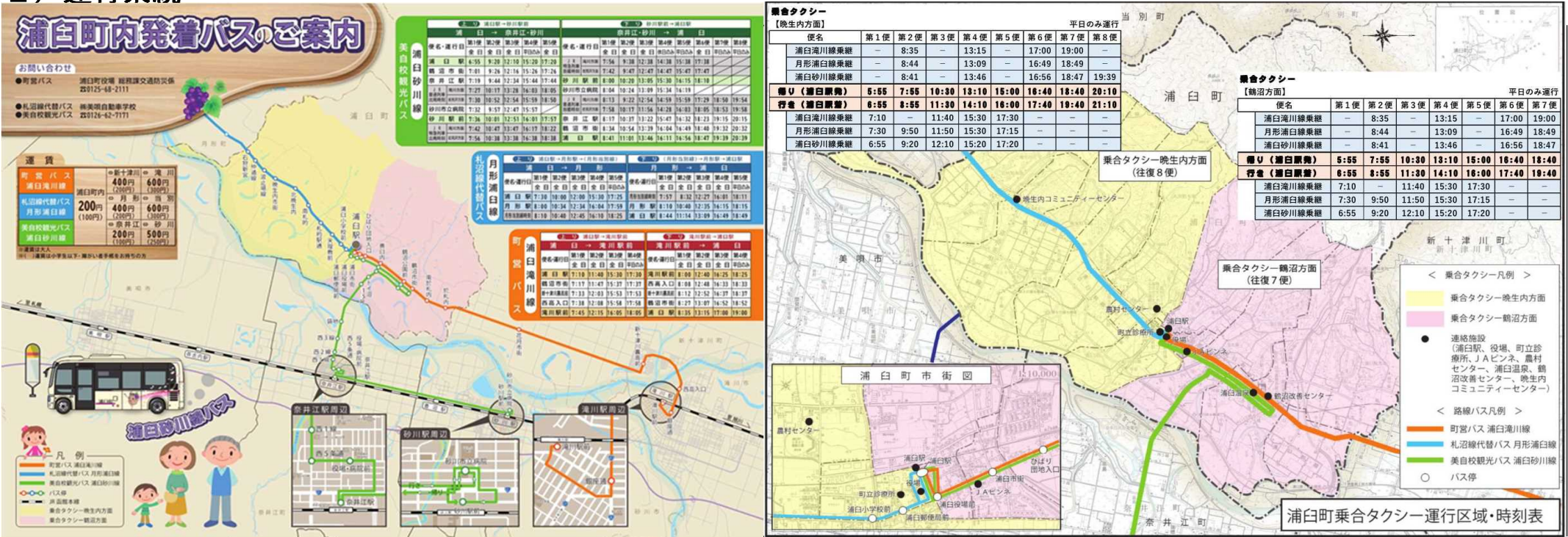
# 令和5年度事業の実施状況

## 1) プロセス、創意工夫

### 【プロセス】

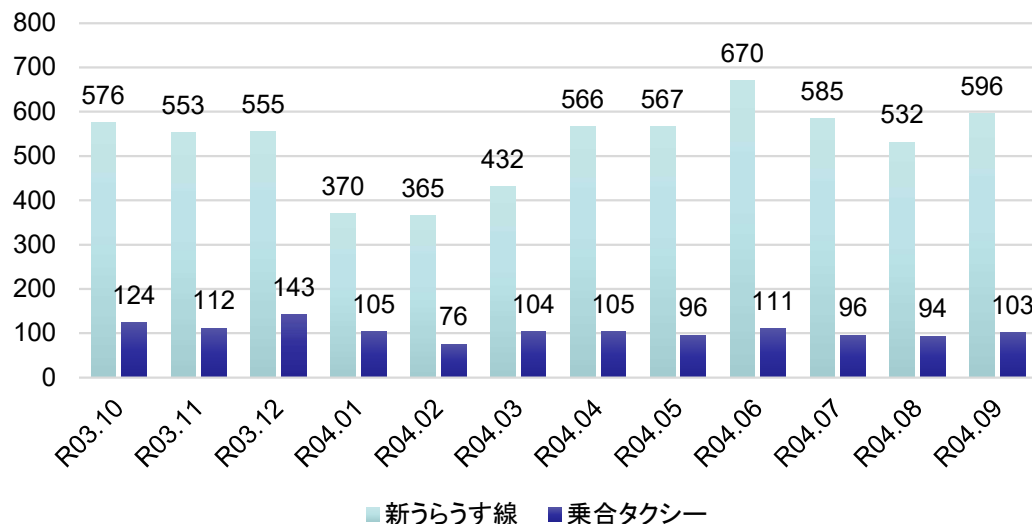
- 平成24年度地域公共交通確保維持改善事業を活用。
- 平成25年4月 新うらうす線の運行開始。
- 平成25年4月 乗合タクシーの実証運行調査（1ヶ月）
- 新うらうす線はJRとの接続を考慮し、19時台の便を増便する等ダイヤの見直しを実施。
- 乗合タクシーは連絡施設を3カ所（休養村センター、鶴沼改善センター、晩生内地区コミュニティセンター）を追加し、ダイヤも町営バスとの連絡を考慮し見直した。
- 令和2年4月 JR札沼線の廃線により代替交通路線として月形浦臼線の新設及び町営バス晩生内線の廃止、乗合タクシー美唄線及び奈井江線を開設。
- 令和3年7月 令和4年10月以降の地域公共交通見直しのため、町民アンケートの実施。
- 令和4年2月 令和4年10月以降の地域公共交通の決定（浦臼砂川線・浦臼滝川線の運行開始、乗合タクシー美唄線・奈井江線の廃止）
- 令和4年10月 北海道中央バス滝川浦臼線廃止に伴う町営バス浦臼滝川線の運行開始、(株)美唄自動車学校による浦臼砂川線の運行開始。乗合タクシーの利用増を図るため、学生限定で定期券を設定。

## 2) 運行系統

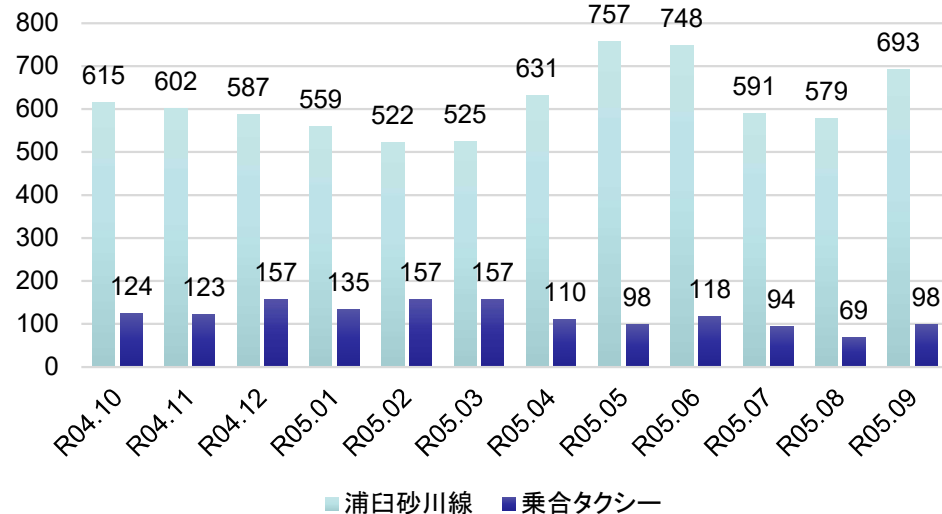


### 3) 利用実績

令和4年度

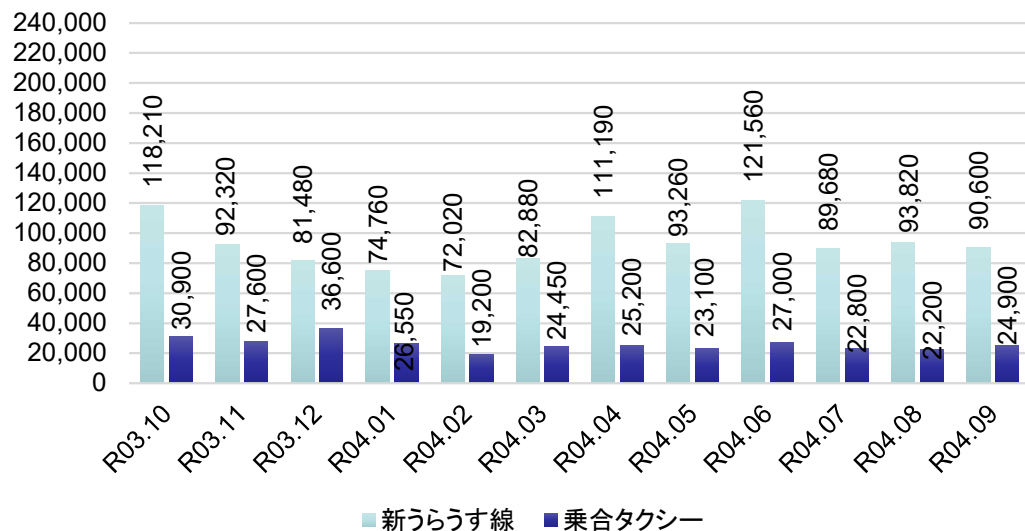


令和5年度

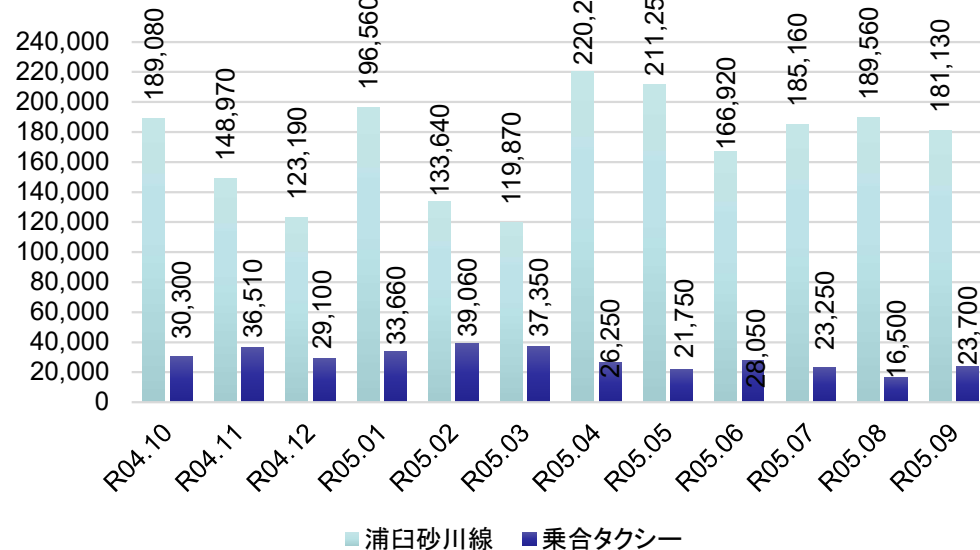


### 4) 収入実績

令和4年度



令和5年度



## 5) 事業実施の適切性

### 【浦臼砂川線】

事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。

### 【乗合タクシー】

事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。

## 7) 事業の今後の改善点

### 【浦臼砂川線】

引き続き、運行ダイヤの全戸配布及び町ホームページへの掲載、連絡駅への時刻表の掲示、観光時期にはSNSを活用など、更なる利用促進に努める。

また、今年度新たな取り組みとして行った連絡駅等への時刻表の掲示についても継続して行いたい。

### 【乗合タクシー】

引き続き登録や予約の方法についてチラシを作成し全戸配布及び町ホームページへ掲載し、更なる利用促進に努める。

## 6) 目標・効果達成状況

### 【浦臼砂川線】

利用者の目標値である6,140人/年に対し、7,409人/年の利用者となり目標数値を大きく上回った。

### 【乗合タクシー】

利用者の目標値である1,490人/年に対し、1,440人/年の利用者となり目標数値より若干下回ったものの、近い値となった。

これは、学生限定の定期券を設定したものにより利用者の維持ができたものと考えられる。

## 8) 地方運輸局における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・乗合タクシーの目標を達成することができなかったものの、利用者数は前年度実績を上回っており、今後も地域公共交通計画に基づき、利用促進策の取組を継続することを期待する。